

平成24年度事業報告

I. 研究発表会、講演会等の開催

1. 日本心理学会第76回大会

期日：平成24年9月11日（火）—13日（木）

会場：専修大学

主催校：専修大学（大会会長：山上 精次教授）

2. 公開シンポジウム・公開講演会等

(1) “社会のための心理学” シリーズ

(a) 負の連鎖を断ち切ることはできるか——児童虐待からの再生——

第1回 6月24日（東京）・第2回 11月18日（京都）

(b) 風評被害の心理学

第1回 9月29日（福岡）・第2回 12月1日（福島）

(c) 犯罪と被害防止に貢献する心理学

第1回 6月9日（京都）・第2回 11月17日（東京）

(d) 自分らしく生きるための絆をもとめて——生涯発達心理学への招待——

9月12日（第76回大会：専修大学）

(2) “基礎心理学の展開” シリーズ

第1回 9月23日（兵庫）・第2回 9月29日（東京）

(3) 高校生のための心理学講座

全国6地域8か所（北海道、東北、関東Ⅰ・関東Ⅱ、中部、近畿、中国四国、九州）

3. 第76回大会時日本心理学会企画シンポジウム等

(1) ICP2016関連シンポジウム

(a) ICP2016を成功させるために

(2) 日韓合同企画シンポジウム

(a) 災害と心理学

(3) 機関誌等編集委員会企画講習会

(a) 英語論文投稿への道——実践編（1）——

(4) “東日本大震災からの復興のための実践活動及び研究” 研究成果報告会

(a) 災害復興支援を考える——東日本大震災からの復興のための実践活動及び研究 採択グループ報告——

(5) 教育研究委員会博物館小委員会企画ワークショップ

(a) “web心理学ミュージアム” を育てる

II. 学会誌、研究報告書及びその他の資料の刊行

1. “心理学研究” 第83巻第1号—第6号を刊行した。

2. “Japanese Psychological Research” Vol. 54, No. 2-No. 4 & Vol. 55, No. 1を刊行した。

3. “心理学ワールド” 第57号—第60号を刊行した。

4. “心理学叢書” の刊行

平成25年度継続

Ⅲ. 研究及び調査の実施

1. 心理学教育についての調査・研究
平成25年度継続
2. 専門家としての力量形成についての調査・研究
平成25年度継続

Ⅳ. 国内の学術団体との学術研究協力

1. 日本学術会議
公開シンポジウム“負の連鎖を断ち切ることはできるか ——児童虐待からの再生——”及び“犯罪と被害防止に貢献する心理学”を、日本学術会議心理学・教育学委員会社会のための心理学分科会と共催で開催した。
安全工学シンポジウムに共催した。
2. 日本心理学諸学会連合
本会から3名、理事として参加している。
会費および認定心理士承認料を支払った。
3. 日本認定心理士会
必要な連絡協力を行った。

Ⅴ. 国際的な学術研究協力

1. 国際心理科学連合
分担金を支払った。
また、ICP2016開催に向けて、ICP2016組織委員会との間で連絡協力を行った。
2. 国際テスト委員会
分担金を支払った。
3. 韓国心理学会との研究協力
協力協定に基づき、日本心理学会大会で日韓合同企画シンポジウム“災害と心理学”を開催した。
また、日韓大会で両国の学会員が研究発表を行った。
4. 中国心理学会との研究協力
協力協定に基づき、必要な連絡協力を行った。
5. オーストラリア心理学会との研究協力
協力協定に基づき、必要な連絡協力を行った。
6. 南アフリカ心理学会との研究協力
協力協定に基づき、必要な連絡協力を行った。
7. 台湾心理学会との研究協力
協力協定に基づき、必要な連絡協力を行った。
8. アメリカ心理学会との協力協定締結
アメリカ心理学会大会にて、協力協定を締結した。
9. マレーシア心理学会との協力協定締結
マレーシア心理学会と協力協定を締結した。

Ⅵ. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1. 公益社団法人日本心理学会優秀論文賞の選考・授与
平成23年度刊行の“心理学研究”および“Japanese Psychological Research”（特集号を除

く) 掲載の原著論文のうちから選考委員会において受賞論文を決定した。平成24年度会員集会時に授与式を行った。

<優秀論文賞>

(a) 情景知覚における空間周波数情報の統合——空間不一致事態での検討——

著者：木原 健・武田 裕司（産業技術総合研究所）

掲載：心理学研究第82巻第4号

(b) 自己-他者配慮的目標が間接的要求の使用に及ぼす影響

著者：平川 真・深田 博己・塚脇 涼太・樋口 匡貴（広島大学）

掲載：心理学研究第82巻第6号

2. 公益社団法人日本心理学会国際賞の選考・授与

国際賞選考委員会にて、国際賞授賞者を選考し、平成24年度会員集会時に授与式を行った。

<特別賞>

東 洋（東京大学）

<功労賞>

福原 眞知子（常磐大学）

<奨励賞>

中田 光紀（米国疾病予防センター・国立労働安全衛生研究所）

明和 政子（京都大学教育学研究科）

結城 雅樹（北海道大学文学研究科）

渡辺 はま（東京大学教育学研究科）

3. 研究集会等への支援

35件の研究集会等助成を行った。

4. 国際会議参加者への旅費補助

28名の国際会議参加者への旅費補助を行った（ICP2012 他）。

VII. 認定心理士の資格認定及び研修

1. 公益社団法人日本心理学会認定心理士資格の審査と授与

平成25年3月31日現在、総件数3946件を審査し、3718名を合格、73名を不合格、155名を保留とした。

必要な手続を経て資格を取得した者は3689名であった。

2. 公益社団法人日本心理学会認定心理士研修会

I-2. 公開シンポジウム・公開講演会等と連動

3. 教科書の刊行

平成25年度継続

VIII. その他目的を達成するために必要な事業

1. 心理学の普及・啓発のための広報活動

Web心理学ミュージアムのリニューアルを行った。

心理学ミュージアム展示室に掲載する作品を公募した。応募作品から優秀作品賞授賞作品を選考し、平成24年度会員集会時に授与式を行った。

<最優秀作品賞>

小鳥の歌学習

著者：高橋 美樹（東京大学総合文化研究科）

<優秀作品賞>

透明性錯覚

著者：武田 美亜（青山学院女子短期大学）

2. 倫理規程の継続的な検討・倫理問題の解決

“公益社団法人日本心理学会会員倫理綱領及び行動規範”について、現行の規程に則して文言の修正を行った。

3. 東日本大震災からの復興のための実践活動及び研究の助成

第2回“東日本大震災からの復興のための実践活動及び研究”を公募し、7件に助成を行った。

4. 選挙の実施

(1) 選挙台帳作成

会員名簿2012を刊行した。

(2) 代議員・役員選挙の実施

代議員・役員選挙を実施した。

5. 第31回国際心理学会議（ICP2016）組織委員会

ICP2016開催に向けて、所管事項を審議した。

6. その他

論文の電子投稿システムを移行した。

以上